

年収が10%減。定期昇給カットされた中で、今後の生活への不安はありますか？



不安が無いと答えた人は **ゼロ** でした…

- 将来への蓄えも必要な時代なのに、ほとんどの人は生きるのて精一杯の現実。
- 社会保険料の増加などが避けられない中で、賃金をカットされた分だけ将来のための資産形成が遅れていく不安がある。
- 将来設計ができない！
- 今の会社の姿勢を見れば不安しかない！
- 経営陣が早急に有効な対策を打てずに赤字がこれだけ膨らんだと言っても過言ではない！
- 期末手当が年収に占める割合が高いのがJR東日本！
- 社友会の若手で、ボーナスが少しでも多く欲しいという声があった。
- 社員を大切にしない姿勢に危機感を感じている。
- ボーナスが魅力だった。転職した意味ないです…
- エルダーはいつになったら安心して老後を暮らせるのか。
- 労働密度が上がって一時金は減。
- コロナ前に戻らないと言っておきながら、過去最高益と比較。昨年よりも収入を確保している！
- このままでは人材破綻！
- 定昇カットと昨年の期末手当で生活は苦しくなった。毎月の給料では物価上昇に追いつけない。施策見ても社員と家族の幸福にはならない！

生活実感・労働実感などなど…

働く者の率直な **生の声** が出されています！

- 新年度からユニット活動で誰かしら超動している。副長以上の管理者からの圧力…
- 車掌経験がない、営業からの運転士見習いの教導がこんなに大変だとは…。新しい施策でも安全を守るためにがんばっています！
- 年収は減る一方でワンマンは増。
- 今年からユニットが始まり乗務以外でもやる事が明らかに増えた。
- コロナ禍以前に比べ働きの度はすくアップしている。その現れが収益に現れている！
- 疲弊している社員が増えている。
- 少しでも収入に繋げようとマイプロで取り組んだり、G会社を利用したりしてきた。小さな努力に会社は目を向けない。
- 間内改良する金あるなら…
- 社員に投資を！いつまで好循環と言っているのか。
- GWも昨年と比較しても、多くのお客さまが利用した。数値にも現れている。出せない理由はない！
- 職場ではコストダウンに取り組み、その意識が定着化してきている。だからこそそそ人件費をダウンしないで欲しい！
- アノラックでさえ「まだ使えるのでは」と交換しないている。
- 乗務員の様々な時間が削られ労働密度が増。みんな安定輸送に歯を食いしばってがんばっている。

本部には 5,600 件
以上、秋田地本でも多くの
声を集約しています！

会社回答に多くの
組合員・未加入者が
注目しています！

- 与えられた仕事はこなしていますが、モチベーションが上がらないので、今以上に頑張る気はありません…
- 黒字化に向けて身を粉にして奮闘している。結果も出している！
- 表彰ではなく、平等に還元してほしい。
- ボーナス減と定昇カットで、私は人件費のダウンに貢献しました。
- 賃金カットされても物価が上昇しても耐え…黒字に向け取り組んできた社員の努力に報い、モチベーションを上げるためにも満額支払うべきだ！
- 夏季手当は自動車税や固定資産税に充てつつ、毎月の支出や貯蓄にまわっていた。一気に魅力を失った。
- 満額回答以外ムリです…
- 普段の乗務行路だけ見てもゆとりは全く無くなった。職場での「疲れた」といった会話が聞く聞こえるようになった。
- モチベーションの最たるものが賃金や期末手当だ！